

2021年3月期 第2四半期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)
2020年11月10日



目次

1. 2021年3月期 第2四半期 決算概要

2. 2021年3月期 業績予想

3. 2021年3月期 下半期 重点施策

2021年3月期 第2四半期 決算概要



2021年3月期 第2四半期 連結決算概要

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額	増減率	主要な変動要因
売上高	1,036	856	-180	-17.4%	次頁詳細
売上原価	385	294	-91	-23.6%	全体コスト減少
売上総利益	651	561	-89	-13.7%	-
販管費	532	516	-16	-3.0%	研究開発費増加 その他は減少
営業利益	118	45	-73	-61.8%	-
経常利益	119	44	-74	-62.6%	-
当期純利益	80	29	-50	-62.9%	-

売上・利益ともに前期比で減少。売上は、新型コロナウイルスでの営業活動制限およびアクロテック事業休止による。費用は、研究開発費が大幅増加する中で全体コストを減少させた。

売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額	増減率	主要な変動要因
ライセンス	254	165	-89	-35.2%	予定商談に遅延発生 新規商談はコロナ影響
保守サービス	559	564	5	1.0%	順調に推移
クラウドサービス	37	41	4	10.5%	順調に推移
コンサルティングサービス	100	52	-48	-47.8%	ライセンス減少のため
SIO常駐サービス	14	11	-3	-24.2%	予定通り
その他	27	21	-6	-21.3%	予定通り
パッケージソフト ウェア事業計	993	856	-137	-13.8%	-
システム開発サービス 事業計	43	-	-43	-%	事業休止のため
売上高合計	1,036	856	-180	-17.4%	-

売上原価と販売費および一般管理費の状況

<u>原価</u>	<u>91百万円</u>	<u>減少</u>
<u>販管費</u>	<u>16百万円</u>	<u>減少</u> (前年同期比)

主な増減内訳

研究開発費の増加	54百万円
支払手数料（サービス）の増加	8百万円
人件費の減少	△42百万円
外注費の減少	△21百万円
教育費の減少	△16百万円
広告宣伝費の減少	△12百万円
通勤費・交通費の減少	△7百万円
福利厚生費の減少	△5百万円
システム開発事業休止等増減	△66百万円

貸借対照表概況

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	増減額
流動資産	3,515	3,526	11
固定資産	362	333	28
総資産	3,877	3,859	-17
負債	624	789	165
純資産	3,253	3,070	-182

純資産減少の主要因は、配当123百万円、自己株式112百万円取得によるもの

その他トピックス

ESS REC NEAO販売

コールセンター事業者での大規模な在宅勤務管理案件に対応

WEBでの問合せ増加

ESS REC NEAO/ESS AdminGateを中心に前年同期比で問合せが50%増加

営業体制の強化

キャリア採用 3名入社

2021年3月期 業績予想



2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 通期 (実績)	2021年3月期 上期 (実績)	2021年3月期 下期 (予想)	2020年3月期 通期 (予想) *	前年同期比 増減率
売上高	1,928	856	1,144	2,000	3.7%
売上原価	745	294	416	710	-4.7%
売上総利益	1,183	561	729	1,290	9.0%
販管費	1,020	516	574	1,090	6.9%
営業利益	162	45	155	200	23.5%
経常利益	172	44	156	200	16.3%
当期純利益	83	29	121	150	80.7%

* 8/11発表から変更はありません

売上構成の推移

(単位：百万円)

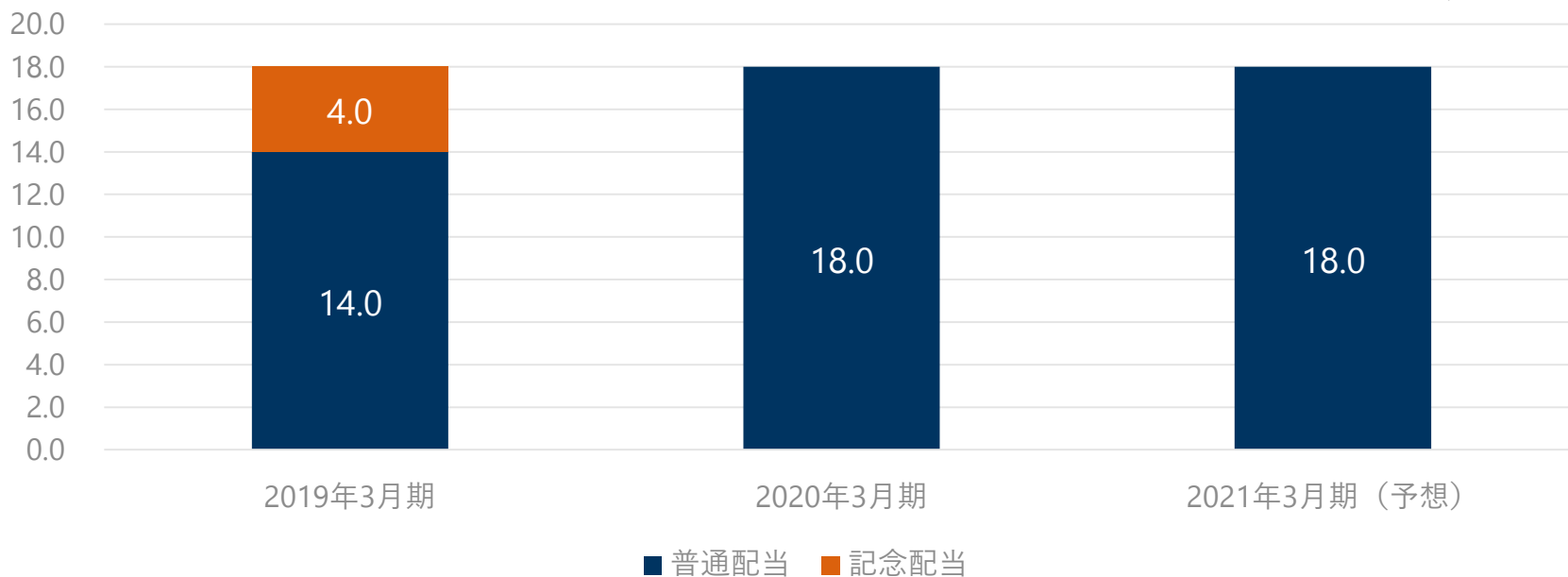
構成項目	2020年3月期 通期 (実績)	2021年3月期 上期 (実績)	2021年3月期 下期 (予想)	2021年3月期 通期 (予想)	前年同期比 増減率
ライセンス	416	165	335	500	20.2%
保守サービス	1,116	564	576	1,140	2.2%
クラウドサービス	76	41	54	95	25%
コンサルティングサービス	177	52	120	173	-2.3%
SIO常駐サービス	33	11	16	27	-18.2%
その他	66	21	44	65	-1.5%
パッケージソフトウェア事業	1,885	856	1,144	2,000	6.1%
システム開発サービス事業	43	-	-	-	-%
売上高合計	1,928	856	1,144	2,000	3.7%

2021年3月期 配当予想*

*8/11発表から変更はありません

- 配当性向は33.3%以上とし、安定的かつ継続的な利益配分の方針
- 2021年3月期は1株当たり18円を予想（配当性向80.8%）

（単位：円）



2021年3月期 下半期 重点施策



2021年3月期 下半期 重点施策

新たな価値創造

ストックビジネス強化

業務効率化による働き方改革の推進

新たな価値創造

働き方改革市場

テレワーク市場へ注力

：コールセンター事業者や金融・情報通信をターゲットに訴求強化

特権ID管理市場

新SIOの基盤部分が完成。アプリケーション部分の第1弾としてDX時代に対応する「次世代型特権ID管理ソフトウェア」ESS AdminONEをリリース
予定時期：2021年2月～3月頃

 **ONE ESS AdminONE**

システム運用市場

業務自動化ソリューションの創出に向けた研究開発中

ストックビジネス強化

新しいクラウドサービスへ拡大

ESS REC (NEAO)を利用した新たなクラウドサービスの提供を計画中
予定時期：2021年3月期 第4四半期～

保守サポートサービスの進化

顧客の不満解消（カスタマーリレーション）から顧客が感動する期待以上のサービスを提供する**カスタマーディライト**へ挑戦

- ・ お客様の専用Webサイトに過去の問合せ履歴などを蓄積し、お客様に参照可能とする等の拡張で、レスポンス品質の向上を図る
- ・ FAQナレッジの蓄積数増大（前年同期比で40%以上増加）
- ・ お客様サイトでの運用改善アドバイスを順次展開

業務効率化による働き方改革の推進

* 8/11発表から変更はありません

マネジメント強化

次世代リーダーの育成および管理者層の自己・組織管理力向上
年齢や勤続年数に関わらず自律的に行動する人材の育成

適応力強化

環境の変化へ柔軟に対応できる制度、仕組みの構築

- 人事評価制度
- テレワーク環境
- システム、インフラ環境整備
- RPA導入による効率化

新型コロナウイルス感染拡大防止と働き方改革

当社では、引き続きお客様をはじめステークホルダー、社員とその家族の安全確保・感染予防と感染拡大の防止に継続的につとめております。

新型コロナウイルス感染拡大防止

11月10日現在まで感染例はありません。

FY20 1Q～

- 【社員の安全確保】
 - ✓ 毎日のバイタルチェック
 - ✓ 衛生備品、感染防止環境作り

働き方改革

新常態

- 【接触機会の低減】
 - ✓ オンラインの活用（Web会議、Web面接）
- 【3密回避】
 - ✓ 在宅勤務
 - ✓ 時差通勤

FY20 3月～

- ✓ オフィス面積減少（在宅勤務、計画的業務遂行など）
年間賃料**18百万円のコスト削減**見込

FY21 1Q～

- ✓ 計画的就労制度（週4日勤務、在宅勤務、時差通勤等）
- ✓ ジョブ型人事制度によるスキルの発揮と適切な評価

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。